

# 施工説明書

## 気密スペーサー 2mm厚タイプ

### SK2-100-L100/SK2-100-L200/SK2-H100-L04

この度は、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

正しく取り付けいただくために、また製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき施工してください。

#### 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

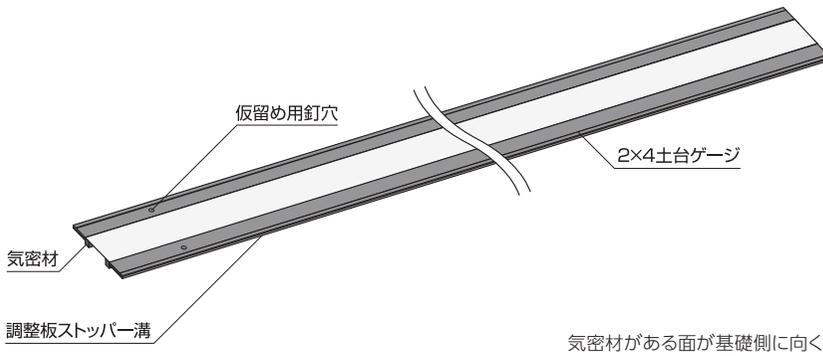
#### ⚠ 注意

	この記号は、禁止の行為を示しています。
	この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
	本製品に対して <b>加熱や不要な打撃を加えない</b> でください。

#### 施工についてのお願い

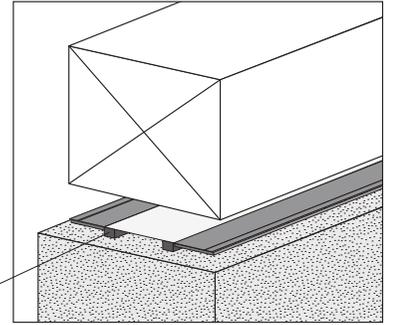
	本製品は気密する区画に対して気密材が連続してつながるように敷き込んでください。
	本製品で使用される土台の想定は以下の通りです。土台105角、土台120角、土台404(204)、土台406(206)。
	本製品の長さ調整は万能バサミ等で行ってください。 ※切断箇所には必ず付属のジョイント用気密材を裏面に貼り付けてください。
	基礎天端が水平(平滑)に仕上がっているかを確認してください。 ※基礎天端の不陸が大きいと気密不良の原因となります。
	土台設置後、本製品と土台との間、本製品と基礎の間に隙間が生じる箇所には必ず専用の調整板(別売品)を使用してください。
	本製品に付いている気密材は、はがさずに使用してください。
	梱包から取り出した状態では、気密材が破損しやすいので、取り扱いには十分ご注意ください。
	仮留め用釘穴がある面を上向きにして敷き込んでください。

## 製品寸法図 (単位: mm)



### ⚠ 注意

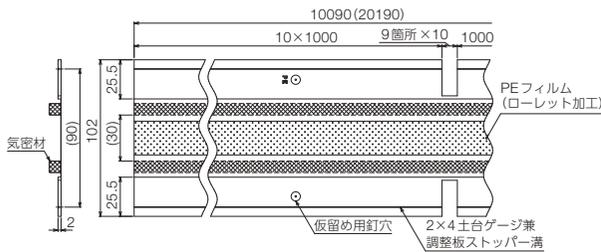
気密スペーサー(2mm厚タイプ)には表裏があります。



気密材がある面が基礎側に向く

### 外基礎用

気密スペーサー : SK2-100-L100/SK2-100-L200



※ ( ) 内寸法はSK2-100-L200

#### 梱包内容

SK2-100-L100 :

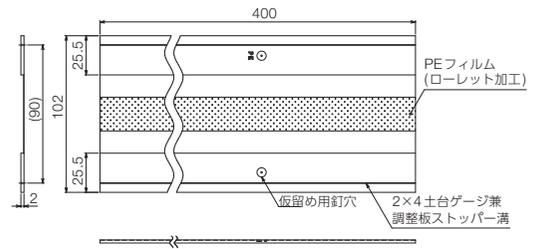
- ・本体4本
- ・本施工説明書1部
- ・ジョイント用気密材15枚

SK2-100-L200 :

- ・本体2本
- ・本施工説明書1部
- ・ジョイント用気密材10枚

### 内基礎用

内基礎用スペーサー短尺タイプ : SK2-H100-L04



梱包内容 本体30枚

## 施工のルール

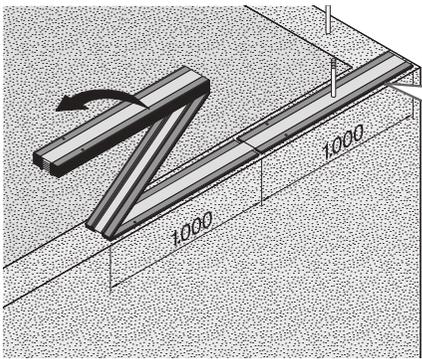
気密スペーサーは、基礎外周など気密を要する箇所に隙間なく、連続して敷き込んでください。

内基礎には、内基礎用スペーサー SK2-H100-L04 を以下4つの施工ルールに従って敷き込みます。

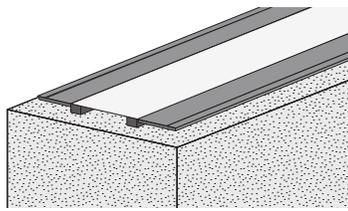
### 内基礎用スペーサー短尺タイプ SK2-H100-L04 の施工ルール (敷き込み位置)

- ① 柱など荷重が集中してかかる部分に1枚
- ② アンカーボルトの緊結部分に1枚
- ③ 土台の継ぎ手部分に1枚
- ④ 敷き込み間隔は3尺(1m)以内に1枚とする (枠組壁工法において耐力壁直下では0.5P間隔で1枚敷き込む)

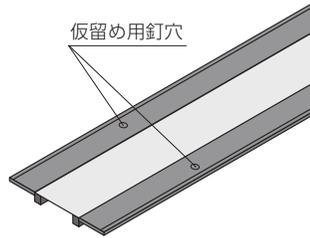
## 施工手順 (直線部)



気密スペーサーは気密する区画に対して気密材が連続してつながるように敷き込んでください。気密スペーサーを敷き込んだ後に内基礎用スペーサーを敷き込みます。



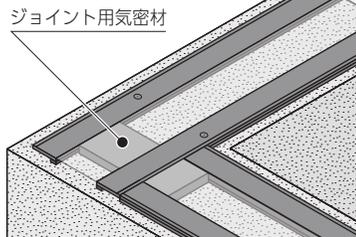
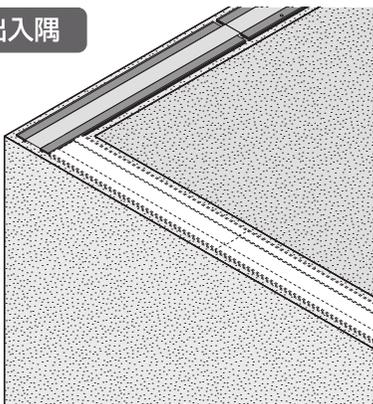
- 2mm厚タイプの気密スペーサーは表裏があり、敷き込む際は、必ず気密材がある方を基礎側に向けて使用してください。



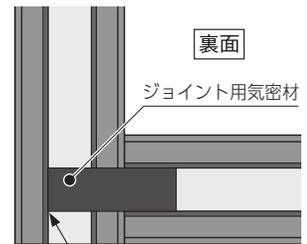
- 中央部のフィルム部分にアンカーボルトを貫通させて設置します。
- 仮留め用釘穴がある面を上向きにして敷き込んでください。
- 敷き込みの際、仮留めが必要な場合は、仮留め用釘穴にコンクリート釘を打ち込みます。

## 施工手順 (出隅・入隅のコーナー部)

### 出入隅

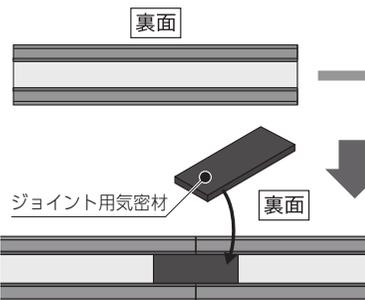
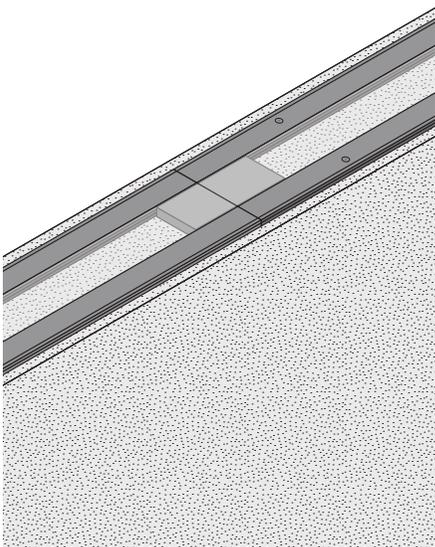


- ジョイント用気密材を気密スペーサー本体の裏面(気密材がある面)に貼り付けます。



裏面  
ジョイント用気密材  
気密材が連続してつながるように貼り付けます。

## 施工手順 (ジョイント部)



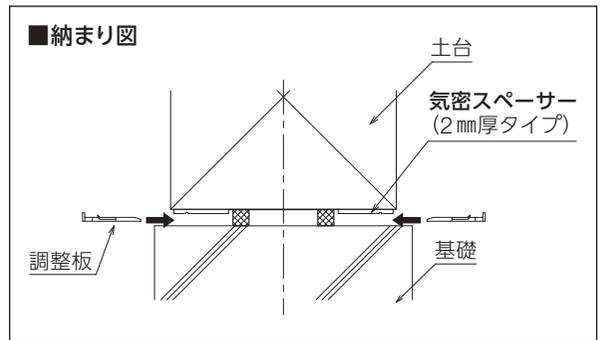
- ジョイント用気密材を気密材が連続するように、裏面(気密材がある方)のみ貼り付けてつなぎます。

裏面

※気密スペーサー同士、隙間が空かないように突き付けてください。

## 土台や基礎との間に隙間が発生した場合

- 土台設置後、土台と気密スペーサーの間や、基礎と気密スペーサーとの間に隙間が生じる箇所には、必ず別売品の調整板を使用してください。(土台や基礎の不陸発生防止)
- 調整板は2枚で1セット(水平レベル)です。  
※調整板の使用枚数は1セットのみとし、気密スペーサーの下(裏面)のみに調整板を左右1枚ずつ差し込んでください。
- 調整板の取り付けは、気密スペーサーの両サイド(基礎の内と外)から気密スペーサーの下(基礎との隙間)に差し込み、手で入らない場合はハンマーなどで軽く叩き込んで完全に挿入してください。  
※調整板を奥まで差し込んで、気密スペーサーの裏面の調整板ストッパー溝へストッパーを嵌合させてセットしてください。  
※3mmを超えますと気密性能の確保ができなくなります。



## ■調整板(別売品)

品番	SK-S1021	SK-S1022	SK-S1023
色	ブラック		
寸法	27×240mm		
材質	PP		
厚さ	1mm	2mm	3mm
梱包	左右30セット/ケース		

**本施工説明書の示す使用取扱い条件を逸脱した場合は、本製品に関する性能・品質及び構造体の安全性についての保証はできません。**

